

むっかけ疑似体験

～ミニガタリンピックコース～
チーム競技の選択肢の一つ



むっかけとは・・・

ムツゴロウは日本では有明海と八代海にしか棲息していない固有種で、干潮時にえさを求めて干潟上に現れるが、その時に針に引っ掛けて釣りあげる方法を「むっかけ」という。竿は約5m、糸も約5mその先に鋭い6本の針が取り付けられている。ガタスキーを使って、9mほど離れたムツゴロウの20cm程先に針を落とし手前に引き上げ1匹1匹を釣り上げる江戸時代後期から伝わるとされる有明海の伝統漁法です。

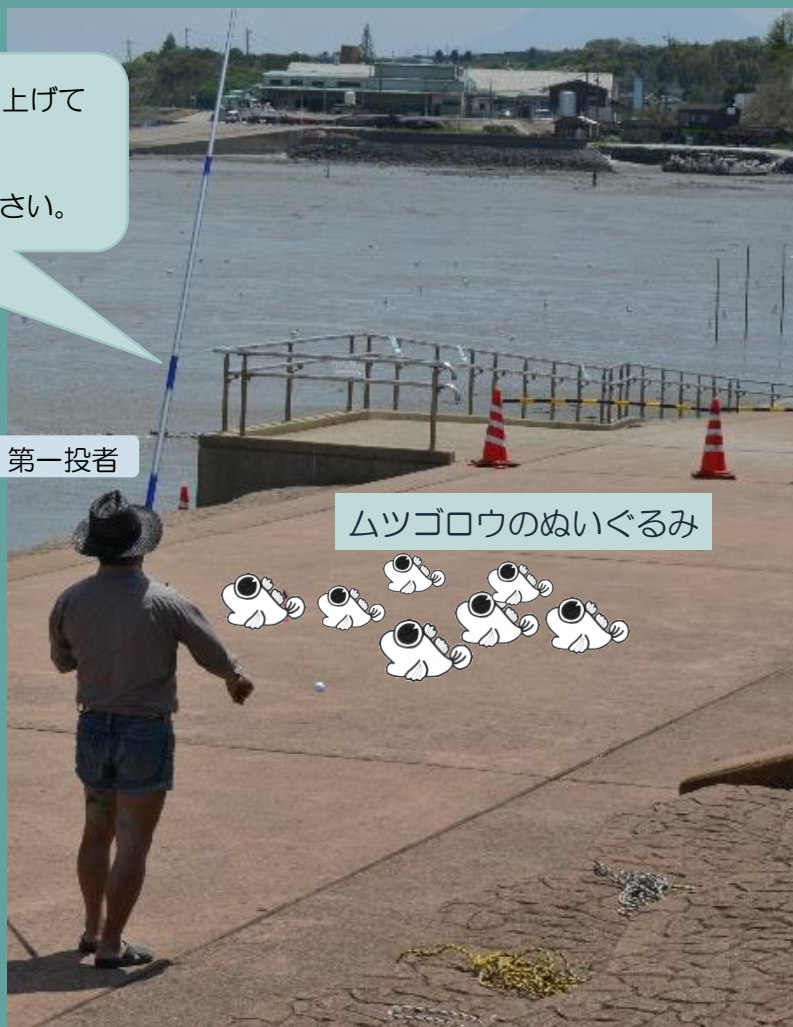
1人1匹むつごろうのぬいぐるみを釣り上げて
竿を次の投者に渡して交代します。
竿をリレーのバトンのようにお考えください。

第一投者～アンカーまで
各チーム別に整列します

第一投者

第三投者 第二投者

アンカー



●安全なものを使用します

- ・「むっかけ」の針が鋭いので、
→ ボール（マジックテープ付）
- ・ムツゴロウ
→ ぬいぐるみ（マジックテープ付）
を使って、行います。

■場 所：陸 上

■チームを作る

1チーム（最大）7名 × （最大）10チーム
第一投者～アンカーまでチームを作ってください。

チーム数をスケジュール表にご記入下さい。

